

◆ 博物館だより

◇平成 23 年度ミュージアム講座「なにわの文化遺産（6）吹田の文化遺産」では、99 名の方から聴講の申込みをいただき、3 日間開講しました。

10 月 17 日「一歴史を中心に」大阪都市遺産研究センター特任研究員 櫻木潤

10 月 24 日「一建物を中心に」環境都市工学部准教授 橋寺知子

10 月 31 日「一祭りを中心に」文学部教授 黒田一充

◇11 月 13 日から 18 日まで博物館実習展を開催しました。今年度は「扇」「三味線」「和傘」「無」電化」「ゆるキャラ」「すごろく」の 6 班が、博物館学課程の集大成として展示を構成しました。ゆるキャラ班が吹田市の着ぐるみ「すいたん」を招待するなど賑やかな展示会となり、会期中に 903 名のかたにご覧いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

◇平成 23 年 6 月、本館所蔵の本山コレクションが一括して登録有形文化財に登録されたことを受けて、11 月 27 日に毎日新聞社と共同でシンポジウム「～本山彦一とその時代～末永雅雄との出会い、そして関西新世紀へ」を開催しました。2 部構成で約 250 人の参加があり、菅谷文則・奈良県立橿原考古学研究所長や橋爪紳也・大阪府立大学教授らの話に熱心に耳を傾けました。また、これを機に本山彦一氏ゆかりの皆様から翁直筆の親書や短冊、若き日の肖像画をご寄贈いただきました。本山彦一氏の足跡を研究していくうえで大変貴重な資料であり、充分活用していきたいと考えています。

◇奥吉野で鍛錬場を構える刀匠 河内國平氏から作刀工程がわかる資料一式をご寄贈賜りました。河内先生には、12 月 16 日の特別講演会「日本刀に学ぶ」でもお話しいただき、73 名の聴講者は、当日披露された先生ご所蔵の日本刀を実際に手にとり、その美しさを堪能しました。ご寄贈いただきました資料は、いずれ特別展を開催して皆さんにご覧いただく予定です。



◇夏の耐震補強工事に続き、博物館施設の内装工事を行うため、1 月 6 日から 2 月 19 日まで休館しました。

◇昭和 47 年 3 月 21 日、奈良県明日香村の高松塚古墳で壁画が発見されて 40 周年を迎えることを記念して、2 月 20 日から 3 月 21 日まで、発見 40 周年の回顧展を開催しました。大学での研究成果の披露と発掘当時の写真パネルなどで当時を振り返りました。

◇本学理事の南部靖之氏から中国清朝の古端硯硯や墨などの文房具 15 件計 17 点をご寄贈いただきました。博物館でこれまで購入・収集



してきた中国・朝鮮・日本のやきものと合わせて、4 月 1 日から平成 24 年度企画展「東洋のやきもの、古硯と古墨」として一般公開いたします。会期は 6 月 30 日までとなっていますので、お誘い合わせのうえ、ぜひご来館ください。

編集後記

『阡陵』第 64 号をお届けいたします。表紙は、今年の干支にちなんで、白磁龍耳瓶（唐）です。7～8 世紀の盛唐期に制作されたものであると思われる、ふくよかで温かな姿形は、唐朝の富裕にして自信のみなぎる国力と華麗な文化を物語るにふさわしい流麗さを兼ね備えています。

故末永雅雄先生とともに博物館創設にご尽力された横田健一先生が平成 24 年 2 月 6 日、享年 95 歳で永眠されました。心からご冥福をお祈りいたします。

3 月末をもって高橋隆博館長が定年のため退任いたします。平成 14 年に第 4 代博物館長として就任して以来、10 年の間、八面六臂の活躍で関西大学博物館の陣頭指揮をとられました。在任中の関係各位のご支援ご厚情に感謝いたします。

